

# 岡山市立夜間中学設置基本方針主要事項（案）

## 1 目指す学校像

### 多様性を尊重し、生徒一人一人が夢や希望に向かって挑戦できる学校

☆ 年齢や国籍、生活背景などにおいて、多様な生徒が在籍するという特長を生かし、生徒・教職員が互いの立場や考え方を受け入れ尊重し、共に学びあう中で実現する。

#### 【学校・教職員の役割】

- 入学時の面談等により個別のニーズを把握し、安心して学べる環境を整える。
- 教育相談等を活用するとともに、日々の関わり合いを通して生徒理解に努める。
- 授業時間や内容を柔軟に設定し、習熟度別にクラスを分けるなど、一人一人の習熟の度合いや理解に応じた学び直しを実現する。
- 各種ボランティアと積極的に連携し、個に応じたきめ細やかな学習支援体制づくりに取り組む。
- 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるとともに、協働的な問題解決を通して実社会で活用できる資質・能力の育成に取り組む。
- 生徒の可能性を信じ、自己表現の場を授業に取り入れ、伸びた力を積極的に認めことにより、分かる喜びや学ぶ意義を実感できるようにする。
- 様々な事情を抱える生徒が継続して学校生活を送ることができるよう、心のケアについて配慮するとともに、学校行事や教材を工夫するなど生徒が負担する費用の低廉化に加え、経済的支援についても実施する。
- 日本語での教科学習に不安のある生徒に対し、日本語指導を行う。
- 卒業後の進路や希望に応じて、生徒一人一人が自分らしく生きられるよう、社会的自立に向けて必要な資質・能力を育む。

## 2 入学対象者

- 入学必要条件（全条件を満たすこと）
  - ・ 義務教育の年齢（満15歳になった日から最初の3月31日まで）を過ぎた人
  - ・ 中学校を卒業していない人又は卒業していても不登校などの理由で十分に学ぶことができなかった人（外国籍の人を含む。）
  - ・ 高等学校以上の学校を卒業・修了していない人
  - ・ 岡山市に住んでいる又は勤務している人及び岡山市と夜間中学に係る協定を締結している岡山県内の市町村に住んでいる人

## 3 入学時期

- ・ 4月入学を基本とする。入学希望者との面談は随時実施し、4月以降入学も想定する。

#### 4 進級と修業年限

- ・次年度への進級については、生徒との面談を実施し学習習熟度を確認のうえ、生徒本人の意向を踏まえ校長が判断する。
- ・修業年限については3年とし、原則6年を上限とする。

#### 5 休学

- ・一定期間通学が困難な状況が発生した場合、本人と相談のうえ、休学を可能とする。

#### 6 通学方法

- ・徒歩、自転車、公共交通機関を利用するの通学を基本とするが、特段の事情がある場合は、柔軟に対応する。

#### 7 学校体制

- ・教職員を適切に配置することにより、全教科に対応した体制を整備する。

#### 8 学校給食

- ・学校給食は実施しないが、持参した食事等について、休憩時間に喫食できるようにする。

#### 9 経済的支援

- ・経済的事情により就学が困難である生徒に対する支援制度新設に向けて検討する。

#### 10 教員研修

- ・授業力向上及び、生徒理解力、生徒指導力向上等の研修を計画的に実施する。

#### 11 教育相談

- ・スクールカウンセラーを配置するなど、相談体制の充実を図る。

#### 12 日本語での教科学習に不安がある生徒への対応

- ・教科学習に必要な日本語を習得できるよう、日本語指導の教材や映像を活用した学習を取り入れるなど、生徒の実態に合わせた指導を行うとともに、日本語指導教室との連携を図る。

#### 13 障害のある人への配慮

- ・バリアフリーに対応した環境を整備するとともに、入学相談があれば、面談等で個別のニーズ等を把握したうえで、可能な限り本人の希望に沿う方向で検討する。

## 14 教育課程等

- 年間授業時数
  - ・年間総時数を700時間程度とし、学び直しや進学ニーズが多くあることを踏まえ、5教科（国語、社会、数学、理科、英語）の時間数を多く設定する。
  - ・授業内容を工夫し、技能教科（音楽、保健体育、美術、技術、家庭）の時数を減らす。
- 週間授業時数
  - ・月曜日から金曜日まで1日当たり1単位時間40分で4時間授業を行う。
  - ・週当たりの授業時間数は20時間とする。
- 授業日
  - ・二学期制とし、長期休業期間は、他の岡山市立中学校と同じ期間とする。
- 学年
  - ・入学については、原則第1学年からとするが、入学者の希望に応じて第2学年や第3学年からの入学も可能とする。
- 学級編制
  - ・学年1学級とするが、生徒の人数や習熟度に応じて柔軟に編制する。
- 授業実施方法
  - ・昼間中学校同様、対面による授業を基本とする。ただし、生徒の生活状況や学習状況に応じて個別指導も並行して実施するとともに、教科担当の教員だけでなく、複数の教員等で指導する体制づくりに取り組む。
- 学習支援
  - ・生徒の習熟度や希望に応じて、授業開始前に個別の学習支援を行う。

## 15 ICTの活用

- ・全生徒に1人1台端末を整備するなどICTを活用し、多様な学びの実現を目指す。

## 16 学校行事と生徒会及び部活動

- ・生徒会は組織するが、部活動については開設しない。
- ・学校行事については、可能な範囲で生徒会とともに計画する。

## 17 制服等

- ・制服は設けないが、式典等で着用する標準服については、生徒会等とともに検討する。

## 18 学生証

- ・学生証を発行し、通学定期券購入時等に割引が適用できるよう、関係組織と調整を行う。

## 岡山市立夜間中学設置場所・設置形態・開設時期について（案）

### ✿ 設置場所（候補地）

岡山市立後楽館中学校（岡山市北区南方一丁目3番15号）

#### 【選定理由】

- ・開校以来のキーワード(多様性の尊重、セーフティネット)が、夜間中学の理念と合致する。
- ・岡山市唯一の中高一貫校であり、高等学校と連携した取組を行うことも考えられる。
- ・開校時、高等学校は定時制の単位制総合学科であったため、そのノウハウを活用できる。
- ・岡山駅から徒歩で15分程度であり、市内外からの利便性が良い。
- ・ユニバーサルデザイン対応の校舎であり、大幅な施設改修が不要である。
- ・利用可能な施設、スペースが有り、令和7年度開設が可能である。

### ✿ 設置形態

#### 二部制の学級（夜間学級）

- ・上記選定理由を最大限生かすため、岡山後楽館中学校の夜間学級として敷地内に設置する。
- ・ホームルームについては、昼間の生徒がホームルームとして使用しない教室を活用する。
- ・授業を行う場所については、特別教室や学校図書館、体育館等の既存施設を活用する。

### ✿ 開設時期

令和7年4月

☆ 令和4年9月定例市議会における市長の所信表明で、夜間中学設置場所(候補地)として公表